

「年金一揆北九州集会」に参加。国の高齢者施策に大きな声あげる！



集会会場で挨拶をする 高木会長



宣伝行動では多くの方が署名にサインを

11月27日(日)昨年に続きコロナ禍の中、年金者組合北九州協議会主催で年金一揆北九州集会が開催されました。小倉北区の米町公園での集会には約70名が参加。各関連団体からも多数の参加があり北九社保協からも高木会長が連帯の挨拶を行いました。集会後、小倉駅前に移動し異常な物価高騰の中、この10年間で6.7%も削減された年金の物価上昇に見合う引き上げの要求と、さらには10月から実施された75歳以上の医療費窓口負担2倍化への怒りの声を上げよう！と駅利用者や通行人の方々にチラシ配布や署名の宣伝行動をおこないました。マイクでの訴えに立ち止まって耳を傾ける方やチラシを受け取る方が多くいました。特に、当事者である高齢者の関心が高く、あちらこちらで署名に応じたりや宣伝行動参加者と話し込む姿が見受けられました。あらためてコロナ禍に加え、物価高騰が生活を直撃していることを実感させられました。日曜日ということもあって人出も多く、大いにアピールの出来た取り組みとなったのではと思います。

「コロナ電話相談会(第17回)」を実施。第8波への不安と影響を懸念。

12月17日(土)に第17回となる全国一斉「コロナ電話相談会」にこの間同様、連帯し実施を行いました。この日も全国ニュースが流れると一斉に電話がなり、相談員の方々は電話の向こうの切実な相談に耳を傾けていました。年末を迎えるにあたり困窮者から多くの相談が寄せられるのでは思っていたのですが、相談件数は24件にとどまりました。コロナ第8波では蔓延防止措置などの制限もなくかつ、対象者は限られますが物価高騰支援金などの給付金の影響もあったのでは推測されます。それでも緊急性・重要性が高いと思われる相談もあり、適切なアドバイスや居住地域の支援団体に繋ぎました。北九社保協も初回から参加し、3年に渡り全国で継続して実施してきたこの相談会ですが今回で一旦、区切りをつけ総括のち今後の対応を検討することとなっています。



かかってきた電話に応じる相談員の方々

年明けは「生保110番」を実施！ 1月17日(火)10時～17時

093-562-3966、 093-562-3967

生活に困っている方、悩まずにお電話下さい！ 弁護士、病院ケースワーカーなどの専門家が相談に応じます